



新学習指導要領の趣旨を踏まえた 学習評価の在り方・進め方 (小学校外国語活動・外国語科)

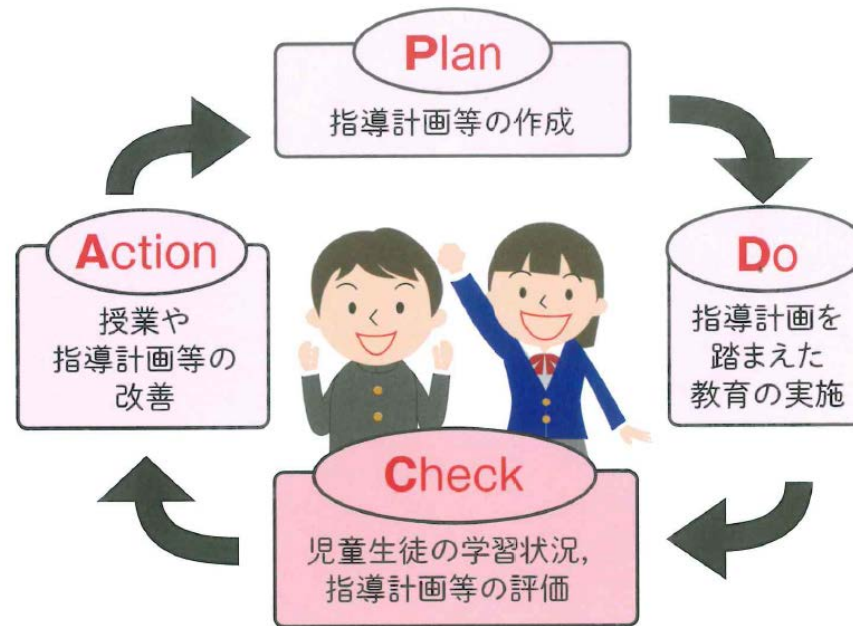
戸田市英語教育推進委員会

戸田市外国語活動・外国語研究部

戸田市教育委員会

学習評価の基本的な考え方

学習評価とは、学校における教育活動に関し、**児童生徒の学習状況を評価**するもの



① 教師の指導改善につながるものにしていくこと

② 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと

③ 必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

指導と評価の一体化 〈目標標準拠評価〉

目標 PLAN

- ★身に付けさせたい資質・能力
- ★目指す児童生徒像

指導 DO

目標に向け、児童生徒の実態に応じた
学習指導の工夫や支援

評価 CHECK

具体的な児童生徒の姿で
目標が達成されたかどうかの見取り

学習状況を分析的にとらえる「観点別学習状況の評価」
観点別学習状況の評価結果を総括的にとらえる「評定」

ACTION

できていない状況
への指導の改善

多様な評価方法① ～多面的・多角的な評価～

3 評価観点に拠る評価規準を用いて学習（～している）
状況を見取る（形成的評価）

行動観察

- ★ALT及び友達とのやり取りにおける対話の成立状況
- ★活動中の発言（質問と応答状況、短いスピーチやスキット等における意味のある発言状況）
- ★課題解決型活動における思考、判断、表現のパフォーマンス状況（作品の制作と説明）
- ★自分の考えや気持ちを発信（主体的にコミュニケーションを図ろうとしている状況）

ワークシート

- ★授業の概要を理解できているか確認する

多様な評価方法② ～多面的・多角的な評価～

3 評価観点に拠る評価規準を用いて学習（～している）
状況を見取る（形成的評価）

ワーク観察

- ★活動内容の理解状況（簡単な語句や表現、物語等を聞いて内容に合うものを選択）
- ★必要性のある音読及び書写の状況等
- ★教科書、教材、ノート等への記入状況等

ポートフォリオ

- ★ファイリングしたものを分析（動画を含む）
ワークシート／活動の様子／スピーチメモ等

多様な評価方法③ ～多面的・多角的な評価～

3 評価観点に拠る評価規準を用いて学習（～している）
状況を見取る（形成的評価）

振り返りカード

- ★活動の概要を理解できているか点検・分析
- ★活動の目標に正対し、何ができるようになったか
- ★自らの学習を調整しているか点検・分析

児童の実態を適切に評価するため

- ①資料を蓄積し、児童の良い点や可能性を把握する。
- ②評価場面や評価方法を精選する。

観点別学習状況の評価の観点の整理

資質・能力の三本柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえ、観点別学習状況の評価観点は**3観点へ整理**

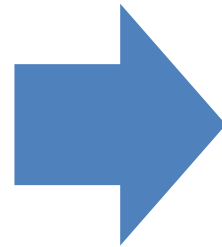
〈現行〉

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解



〈新〉

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度

- ・ 観点ごとにA・B・Cの3段階で評価する。
- ・ 観点別評価の結果を総括して、3段階で評定する。

「知識・技能」についての考え方

コミュニケーション活動を通して獲得する**知識及び技能の習得状況**について、**評価規準を用いて形成的評価をする**とともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価するものです。

現行の「知識・理解」と「技能」が統合されたものです。**理解を伴った知識を基に、他の場面でも応用できる知識や技能の習得状況を評価**します。

英語の特徴やきまりに関する事項を理解しているかどうか、それらを実際のコミュニケーションにおいて活用する技能を身に付けているかどうかを評価する。

「思考・判断・表現」についての考え方

各教科の知識及び技能を活用して外国語によるコミュニケーションにおける課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価するものです。

自分の考えを表現させたり、問題解決的学習で最適な答えを思考・判断させたりする等の学習場面を通して評価します。

コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」についての考え方

2つの側面から評価

- ①知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた**粘り強い取組を行おうとする側面**
- ②その粘り強い取組を行う中で、**自らの学習を調整しようとする側面**

適切に評価するためには、**児童生徒に学習のめあてや見通しをもたせたり、その達成状況を振り返らせたりすることが必要**です。また、学習の途中にそのやり方等を調整しているかを見取することも大切です。

自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身に付けているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているかを評価。

学習評価を進めるにあたって ポイント①

★「評価規準」を作成し、「目標」の実現状況を評価

評価規準とは**教育目標を具現化**したもので「**すべての学習者が到達することを期待する達成目標**」のことである。規準は観点別に**学習活動状況を評価する際のよりどころ**となる。

★内容のまとめりごとの評価規準（領域別の目標）

外国語活動・外国語科における内容のまとめりとは、**3領域及び5領域**（聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り、発表〕、書くこと）を指し、**育成を指す資質・能力**が具体的に示されている。

評価の観点とその趣旨を踏まえた評価規準（戸田市版）を参照し、各レッスンと各単元の評価規準を作成する。

学習指導要領の5領域別の目標

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
聞くこと	<p>ア ゆっくりはっきりと話されれば, 自分のことや身近で簡単な事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。</p> <p>イ ゆっくりはっきりと話されれば, 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 具体的な情報を聞き取ることができるようにする。</p> <p>ウ ゆっくりはっきりと話されれば, 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 短い話の概要を捉えることができるようにする。</p>		
読むこと	<p>ア 活字体で書かれた文字を識別し, その読み方を発音することができるようにする。</p> <p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。</p>		
話すこと [やり取り]	<p>ア 基本的な表現を用いて指示, 依頼をしたり, それらに応じたりすることができるようにする。</p> <p>イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。</p> <p>ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして, 伝え合うことができるようにする。</p>		
話すこと [発表]	<p>ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことについて, 伝えようとする内容を整理した上で, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p> <p>ウ 身近で簡単な事柄について, 伝えようとする内容を整理した上で, 自分の考えや気持ちなどを, 簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。</p>		
書くこと	<p>ア 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。また, 語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。</p> <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について, 例文を参考に, 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p>		

内容のまじまじの評価規準例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄などについて話される簡単な語句や基本的な表現や、日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や、場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて話されるのを聞いて、その概要を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されたものを聞こうとしている。</p>
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、活字体の大文字・小文字を識別したり、その読み方を発音したりする技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や、場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、意味が分かっている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたものの意味を分かろうとしている。</p>
話すこと「やり取り」	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>

内容のまじまじの評価規準例

<p>話すこと「発表」</p>	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分のこと、身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分のこと、身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。</p>
<p>書くこと</p>	<p>[知識] 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、活字体の大文字・小文字を書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、書いたりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。</p>

学習評価を進めるにあたって ポイント②

外国語活動及び外国語科の「評価の観点及びその趣旨」

小学校外国語活動・外国語科／中学校外国語科における評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小学校 外国語活動 3・4年	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めている。 ●日本語と外国語の音声の違い等に気付いている。 ●外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
小学校 外国語科 5・6年	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 ●読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 ●外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
中学校 外国語科	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ●外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習評価を進めるにあたって ポイント③

戸田市外国語活動・外国語科の評価規準（年計参照）

「学習指導要領の3本柱」及び「各教科の観点別学習状況の3観点」		外国語活動の観点別評価の趣旨を踏まえた評価規準（領域別の評価規準の原典）
知識及び技能	知識・技能	①外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めている。 ②日本語と外国語との音声の違い等に気付いている。 ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりしている。 ②自分の気持ちや考えなどを伝え合っている。 ③簡単な英語によるコミュニケーションの仕方を身に付けている。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ②相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。

「学習指導要領の3本柱」及び「各教科の観点別学習状況の3観点」		外国語科の観点別評価の趣旨を踏まえた評価規準（領域別の評価規準の原典）
知識及び技能	知識・技能	①外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 ②読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 ③外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	①コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり、話したりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。 ②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちを伝え合っている。
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	①外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。 ②他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ③様々な工夫をしてコミュニケーションを続けようとしている。 ※児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況→個人内評価 日々の教育活動や総合所見等で児童に積極的に伝える！

単元における学習評価の進め方

STEP 1

単元（題材）の目標を作成

～できる

STEP 2

単元（題材）の評価規準を作成

～している

STEP 3

「指導と評価の計画」を作成

評価場面の精選

STEP 4

授業実施と評価規準に拠る形成的評価

具体の姿を想定

STEP 5

総括的評価（まとめ）と評定

学校で評価方法決定

「観点別学習状況の評価」を総括した「評定」

外国語科：児童の学習の実現状況を、3段階で評定

3：「十分満足できる」状況と判断されるもの

2：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

1：「努力を要する」状況と判断されるもの

観点別評価	合計値	評定
A A A	9	3
A A B	8	3
A B B	7	2
A B C	6	2
B B B	6	2
B C C	4	1
C C C	3	1

各単元において観点ごとに総括した評価結果

観点別学習状況の評価を数値化し、合計値で決定

A → 3点

B → 2点

C → 1点

「知識・技能」の評価規準の作り方

話すこと「やり取り」の設定例

<知識>

基本形

【言語材料】 について理解している。

↑ 当該単元で扱う言語材料が入る。

<技能>

【事柄・話題】 について、**【言語材料】** 等を用いて、**【内容】** を伝え合う技能を身に付けている。

<知識>

具体例

身の回りの物を表す語や、I like/want/have～. Do you～? What do you～?の表現について理解している。

<技能>

自分や相手のことについて、身の回りの物を表す語や、I like/want/have～. Do you～? What do you～?を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。

「思考・判断・表現」の評価規準の作り方

話すこと「やり取り」の場合

基本形

【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、簡単な語句や基本的な表現を用いて【内容】を伝え合っている。

【目的等】には、単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションの目的や場面、状況を当てはめる。（例）「～するために/～に応じて」

具体例

新しくやってきたALTのことを理解したり、自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合っている。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作り方

話すこと「やり取り」の場合

基本形

【目的等】に応じて、【事柄・話題】について、簡単な語句や基本的な表現を用いて【内容】を伝え合おうとしている。

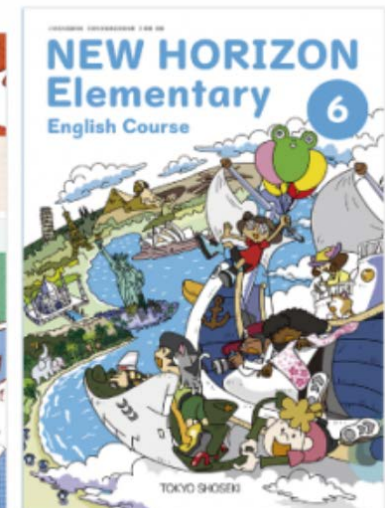
※言語活動への取組に関して、見通しを立てたり、振り返ったりして、自らの学習を自覚的にとらえている状況については年間を通じて評価する。

具体例

新しくやってきたALTのことを理解したり、自分のことを伝えたりするために、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

単元における学習評価の進め方 【 具体例 】

第6学年 NEW HORIZON Elementary English Course ⑥ Unit 3 Let's go to Italy.



第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 Let's go to Italy.

STEP 1

単元（題材）の目標を作成

〈知識及び技能〉

海外で行ってみたい国や地域について、その理由を説明することができるようにする。また、例文を参考に、その場でできることを書くことができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力〉

旅行代理店として、おすすめの国や地域について、魅力的な理由を添えながら伝えることができるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

他者に配慮しながら、伝え方や聞き方に工夫し、自分の考えを伝えようとする。

第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 における学習評価の進め方

STEP 2

単元（題材）の評価規準を作成

聞くこと（聞）

知識・技能

〔知識〕

①海外の国における有名な建物や食べ物を表す語句の意味を理解している。

〔技能〕

②おすすめの国や地域の魅力を表す表現を含む短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。

思考・判断・表現

①友達やALTがおすすめする国や地域についてよく知るために、旅行をすすめている理由についての具体的な情報を聞き取り、話の概要を捉えている。

主体的に学習に取り組む態度

記録に残す評価はしない。

第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 における学習評価の進め方

STEP 2

単元（題材）の評価規準を作成

話すこと〔発表〕（**発**）

知識・技能

〔知識〕

①海外の国や地域への旅行をすすめる表現やその理由の言い方を理解している。

〔技能〕

②おすすめの国や地域の魅力を伝える技能を身に付けている。

思考・判断・表現

①旅行代理店として、友達やALTに自分のおすすめの国や地域について、魅力を伝えるために、理由を添えながら、自分の考えや気持ちを伝えている。

主体的に学習に取り組む態度

①異文化への理解を深め、他者に配慮しながら、質問に応答し、主体的に自分のおすすめの国や地域の紹介と、その理由を話そうとしている。

第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 における学習評価の進め方

STEP 2

単元（題材）の評価規準を作成

	書くこと（書）
知識・技能	〔技能〕 ①活字体の大文字・小文字を理解し、おすすめの国や地域でできることについて、例文を参考に書く技能を身に付けている。
思考・判断・表現	①旅行代理店として、友達やALTに自分のおすすめの国や地域について、魅力を伝えるために、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、例文を参考に旅行案内カードを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	記録に残す評価はしない。

本単元における「読むこと」及び「話すこと(やり取り)」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価はしない。

第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 における学習評価の進め方

STEP 3

「指導と評価の計画」を作成

	■目標 ●活動	知・技	思・判・表	態	◎評価規準 評価方法
1	<p>■世界の有名な建物や食べ物などについての紹介を理解する。</p> <p>●歌、Small Talk、語彙、チャッツ、Starting Out</p>	<p>聞</p> <p>①</p> <p>②</p>			<p>◎おすすめの国や地域の魅力を表す表現を含む短い話の概要を捉えたりする技能を身に付けている。</p> <p>〈行動観察・記述点検・振り返りカード〉</p>
2-3
4	<p>■おすすめの国の魅力について調べ、たずね合いまとめる。</p> <p>●歌、Let's Try、Let's R&W</p>	<p>書</p> <p>①</p> <p>②</p>	<p>書</p> <p>①</p>		<p>◎活字体の大文字・小文字を理解し、おすすめの国でできることについて、例文を参考に書き写している。</p> <p>〈行動観察・記述点検・振り返りカード〉</p>
5
6	<p>■旅行代理店として、おすすめの国や地域を紹介する。</p> <p>●Small Talk・グループ発表</p>		<p>発</p> <p>①</p>	<p>発</p> <p>①</p>	<p>◎旅行代理店として、友達やALTに自分のおすすめの国や地域について、魅力を伝えるために、理由を添えながら、自分の考えや気持ちを伝えている。</p> <p>〈行動観察・パフォーマンス・振り返りカード〉</p>

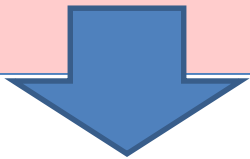
第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 における学習評価の進め方

STEP 4 授業実施と評価規準に拠る形成的評価

第6校時：評価規準

旅行代理店として、友達やALTに自分のおすすめの国や地域について、魅力を伝えるために、理由を添えながら、自分の考えや気持ちを伝えている。



B：概ね満足できる状況

A：十分満足できる状況

具体例や理由を添えるとともに、友達の質問に受け答えしながら、自分の考えや気持ちを分かりやすく伝えている。

C：努力を要する状況

おすすめ国や地域は伝えられたが、理由を添えられず、自分の考えや気持ちを伝えられていない。

第6学年 NEW HORIZON Elementary⑥

Unit 3 における学習評価の進め方

STEP 5

総括的評価（まとめ）と評定

単元における観点ごとの評価については、**十分に見取ることが**できる段階で行う。また、単元末、学期末、学年末等の節目の時期に総括的評価・評定を行う。

番号	名前	Unit 1			Unit 2			Unit 3			総括			評定
		知	思	主	知	思	主	知	思	主	知	思	主	
1	戸田 太郎	B	A	B	A	B	C	B	A	C				
2	初旨 化	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
3	笹目 武	A	B	B	A	B	B	A	B	B				
4	喜沢 由紀	C	C	B	C	C	B	C	B	B				
5	新曾 剛	B	B	B	B	B	B	B	B	B				

例えば「戸田太郎」さんの総括的評価（まとめ）と評定をする場合・・・
観点別評価の総括は、知「**B**」 思「**A**」 主「**C**」となり、
評定は「**2**」となる。〈決定方法は各学校で基準を検討しておく！〉

外国語活動（第3・4学年）に係る評価

従来、観点別に設けていた文章記述欄を簡素化した上で、評価の観点に即して、**児童の学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述する。**

外国語活動の記録			
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3			
4			

総合的な学習の時間の記録

児童の良い点、意欲や態度、進歩の状況等を踏まえた記載に努め、励ましの学習評価を心がける。

- ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付きながら、日課を表す表現に慣れ親しんでいた。
- ・「行ってみたい国」について、その国の魅力にふれながら、慣れ親しんだ表現を使って、友達とALTと伝え合っていた。

〈情報提供〉 評価支援システム

1 ご利用の流れ

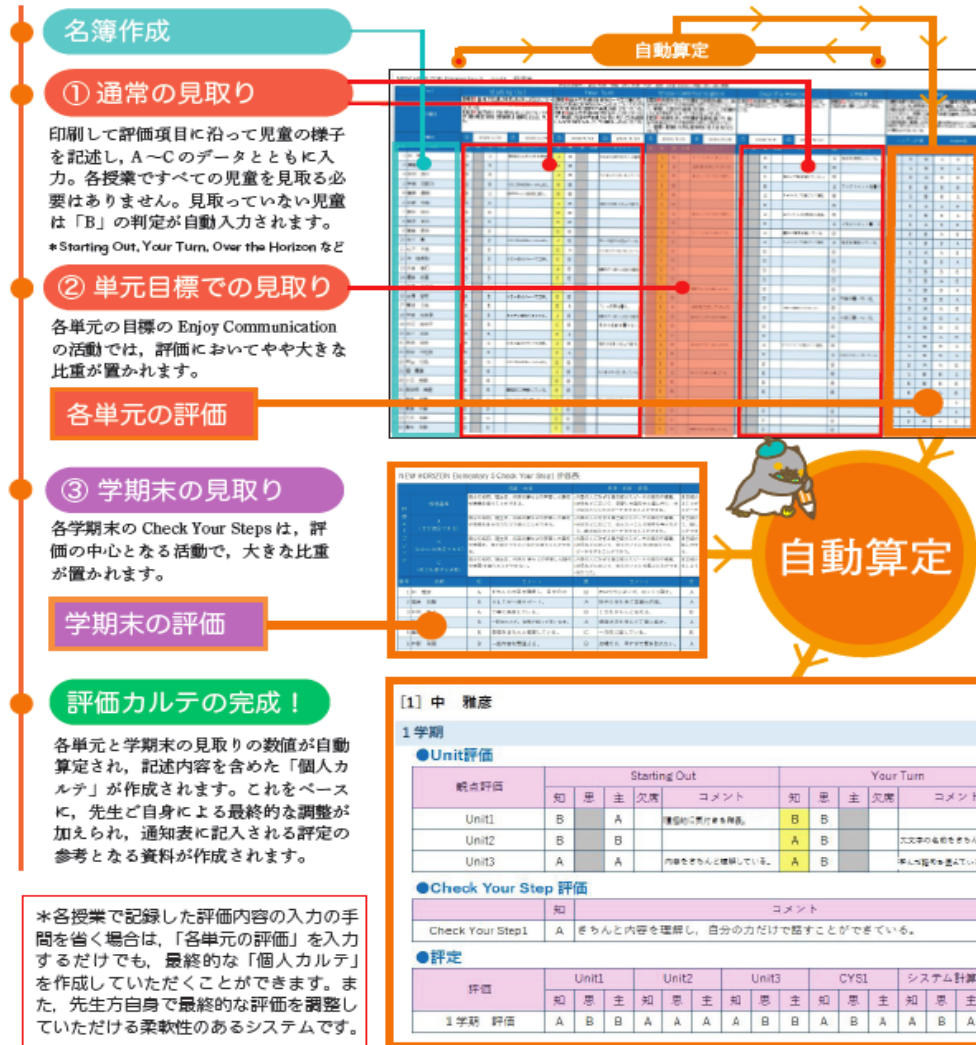


評価のフロー

教科書の各パートや活動と、評価システムがどのように連携しているのかを下記のフローでご確認いただけます。

評価の軽重などの比重は、システムが自動的に調整します。

*入力内容はサンプルです。



〈情報提供〉 評価支援システム

メインメニュー 3学期制

×

NEW HORIZON Elementary English Course

5

評価支援システム 3学期制 [Ver.01]

2学期制メニュー

1学期

Unit 1

Unit 2

Unit 3

Check Your Steps 1

1学期まとめ

2学期

Unit 4

Unit 5

Unit 6

Check Your Steps 2

2学期まとめ

3学期

Unit 7

Unit 8

Check Your Steps 3

3学期まとめ

基本設定

基本設定

名簿作成



個人カルテ



保存

終了

Copyright by TOKYO SHOSEKI CO., LTD. All rights reserved.

※詳細は東京書籍の評価支援システム ユーザーズマニュアル参照